

■ 流山市自転車駐車場の現状

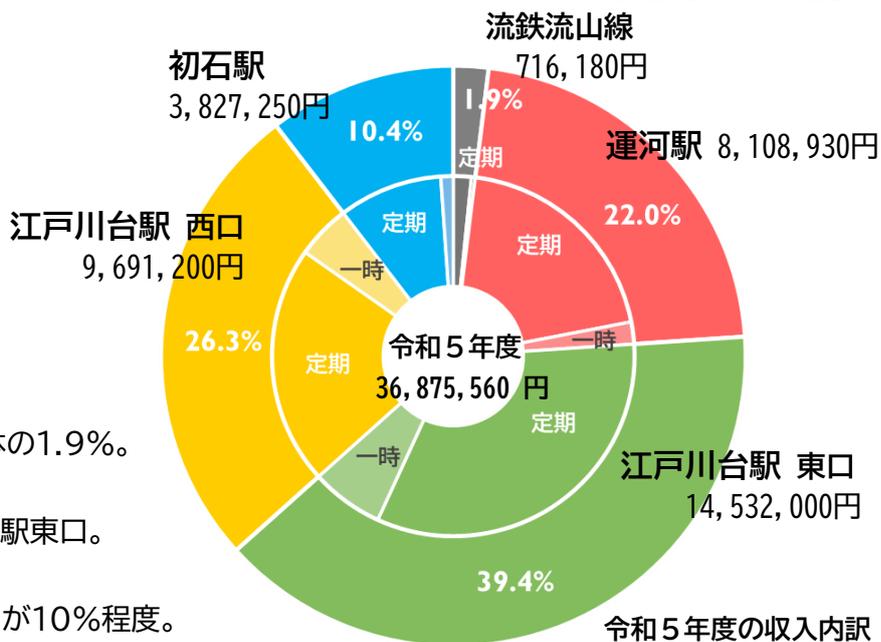
資料2

① 施設ごとの契約数・収入・実稼働（令和5年度）

	駅名	施設名	収容台数	R5年度		R5年度収入額(円)		実稼働率(R5.10)	
				契約数		定期利用	一時利用	駐車台数	実稼働率
流鉄流山線	流山駅	東側自転車駐車場	14台					60台	28.0%
		西側第1自転車駐車場		142台					
		西側第2自転車駐車場	200台						
	平和台駅	第1自転車駐車場	100台	34台			7台	3.6%	
		第2自転車駐車場	95台						
鱈ヶ崎駅	鱈ヶ崎駅自転車駐車場	290台	50台	592,700円	123,480円	13台	4.5%		
東武アーバンパークライン	運河駅	西口自転車駐車場	600台	690台			318台	53.0%	
		東口第1自転車駐車場		348台			163台	47.2%	
		東口第2自転車駐車場	300台	344台			163台	54.3%	
		運河堤防自転車駐車場	900台	423台	7,379,370円	729,560円	99台	11.0%	
	江戸川台駅	【東口】							
		階層式1階自転車駐車場	420台	437台			265台	63.1%	
		階層式2階自転車駐車場	400台	445台			228台	57.0%	
		第1自転車駐車場	1238台	982台			558台	45.1%	
		第2自転車駐車場	944台	715台	12,136,720円	2,395,280円	405台	42.9%	
		【西口】							
		階層式1階自転車駐車場	593台	687台			511台	86.2%	
		階層式2階自転車駐車場	394台	160台			80台	20.3%	
	初石駅	東側第1自転車駐車場	475台	486台	3,418,670円	408,580円	265台	55.8%	
		東側第2自転車駐車場	635台						
		東側第3自転車駐車場	200台				184台	65.9%	
		西側自転車駐車場	279台	281台					
合計			8,933台	6,841台	36,875,560円		3,671台		

指定管理者作成 年度報告書 参照

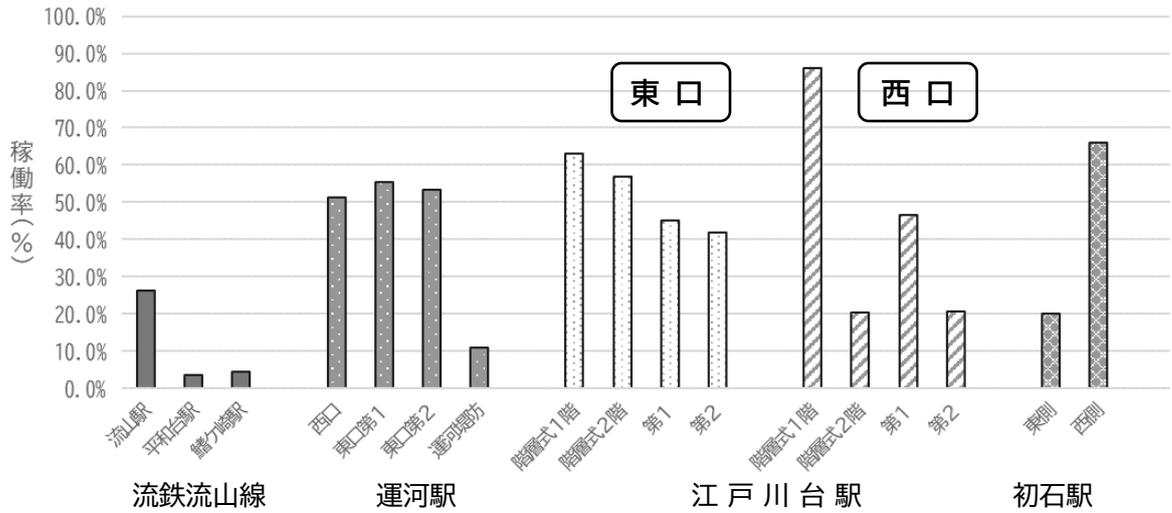
② 収入内訳（令和5年度）



- 流鉄流山線3駅の収入額は全体の1.9%。
- 最も需要が高い駅は、江戸川台駅東口。
- 流鉄流山線、初石駅は一時利用が10%程度。
- 江戸川台駅(東口・西口)は、一時利用が15%以上を占めており、一時利用の需要も高い。

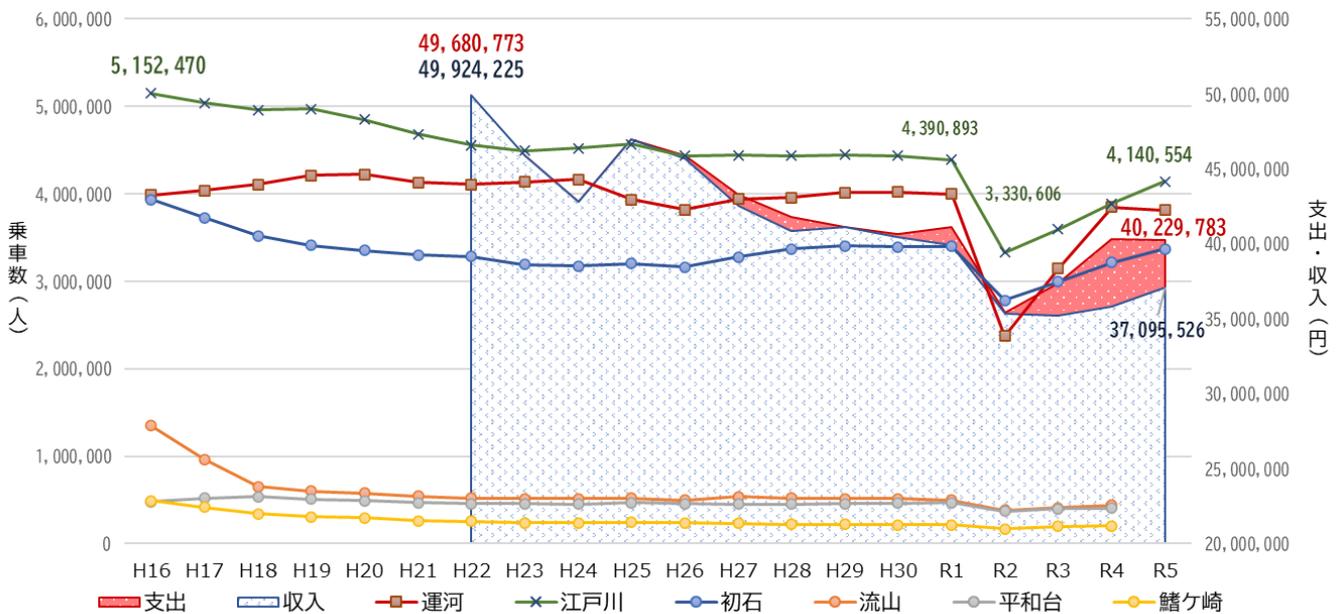
③ 施設ごとの実稼働率(R5.10 第2週)

※ 令和5年度で最も稼働率が高かった日



流鉄沿線	流山駅22.7%(56台)、平和台駅3.6%(7台)、鱈ヶ崎駅4.5%(13台)となっています。
運河駅	東口第1は令和6年度より閉鎖されているため、他の近隣施設に分散すると予測されます。
江戸川台駅	階層式1階は屋根付きということもあり、例年人気で稼働率も常に高い傾向にあります。一方で、東武線の線路沿いでは駅から遠いほど稼働率が低くなる傾向にあります。
初石駅	現在は西側の需要が高いですが、今後橋上駅舎化がされ東西を結ぶ自由通路が整備されるため、東側の需要は高くなると予想されます。

④ 各駅の乗車数と自転車駐車場の収支



- 自転車駐車場の収入は、各駅の乗車数と相関関係があることが推認されます。
- 令和元年からの3年間はコロナ禍の影響から利用者が現期限し、収入減となっております。
- 乗車数は令和4年以降概ね回復していますが、自転車駐車場の収入は回復が伸び悩む一方で、支出は同等水準になっています。